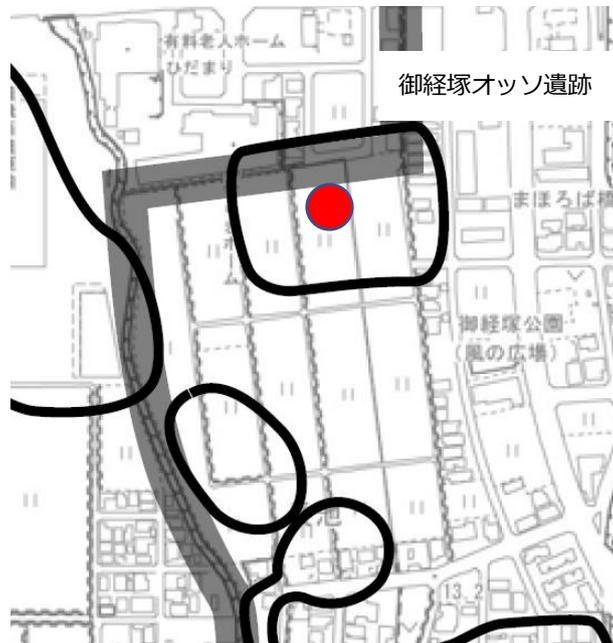


おきょうづか  
御経塚オツソ遺跡

調査面積	1,008 m <sup>2</sup>
調査期間	令和5年4月3日～令和5年7月31日
遺跡の種類	集落跡
遺跡の時期	縄文、弥生、中世
主な遺構	<small>ほったてばしらたてもの</small> 掘立柱建物、溝、土坑、小穴、流路など
主な遺物	弥生土器、 <small>たせいせきふ</small> 打製石斧、
概要	

御経塚オツソ遺跡は弥生時代後期後半を中心とするムラの跡です。長池土地区画整理事業に伴って令和4年度に引き続き調査を行いました。

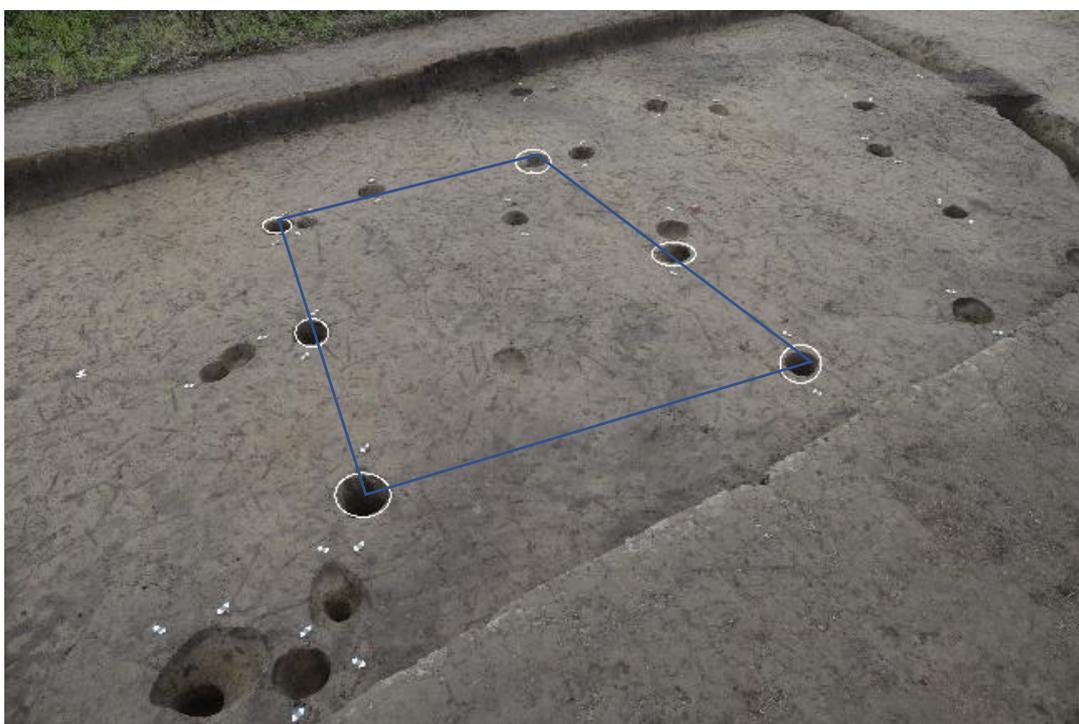
令和5年度の調査では昨年度の調査に引き続き弥生時代の建物跡や大きな溝などを確認しました。建物跡としては掘立柱建物が2棟確認できました。溝跡からは甕かめや高坏たかつきなどの弥生土器を数多く発見しています。集落の中心は昨年度に調査した範囲であり、今年度は中心から縁辺に至る範囲であることが明らかになりました。



遺跡の所在地



溝から見つかった弥生土器



掘立柱建物